

第5期 pES club step4 大会カリキュラム

平成18年7月2日
虎の門病院分院 内科総合診療科
南郷 栄秀
<http://spell.umin.jp>

目標：正しい日本語を使いこなし、社会人としての礼儀をわきまえることができる。

1. 日本語ワークシート

正しい言葉遣いの基本を確認するための演習問題。「5pES_test.doc」に解答を記入し、ファイル名に自分の名字をローマ字で付記して（例：「5pES_test_nango.doc」）、6月25日までに南郷までメールに添付して提出すること。採点して1～10ポイントを付与する。6月26日以降に提出した場合にはポイントは付与しない。

2. 就職面接シミュレーション（就職活動を控えた学生のみ）

就職試験の模擬演習として、教官を相手に面接を行う。面接時間は5分間で、その方法は当日発表する。事前に履歴書を作成し、4部コピーして当日持参すること。1～5ポイントを付与する。履歴書も評価の対象とする。

3. 社会人としての礼儀

就職希望先の担当部署に見学申し込みをする場面を想定して依頼のメールを作成し、6月25日までに南郷に送信すること。メールの文面について1～5ポイントを付与する。

例会当日は、初対面の人への挨拶の仕方、電話の応対などを学ぶ。各自、自分の名刺を10枚作成して持参すること。電話応対のトレーニングには「5pES_telephone.pdf」のシナリオを用いるので、準備をしてくること。総合的に評価して1～5ポイントを付与する。

4. 患者への説明

医歯薬看護学生それぞれを対象としたシナリオに基づいて、学生が医療者役となり、教官を患者役としてロールプレイを行う。

医学生用シナリオ : 「5pES_scenario6M.pdf」

歯学生用シナリオ : 「5pES_scenario6D.pdf」

薬学生用シナリオ : 「5pES_scenario6P.pdf」

看護学生用シナリオ : 「5pES_scenario6N.pdf」

終了後、5分間の相互評価を行う。評価のポイントは、非医療従事者（患者）にとって分かりやすい説明か、適切な表現を用いているか。話す速さは適切か、仕草や態度は適切か、である。

1人の学生に対する評価の持ち点は、教官は3点、学生は1点とする。教官は4名が評価にあたるため、 $3 \times 4 = 12$ 点満点となる。一方、学生は、部分参加となる人がいることを考慮し、評価にあたった学生の数に応じて、下記の通り按分する。学生分の得点は10点を満点とする。

総合得点 = 講師4名の合計得点 + 学生分の合計得点 / 評価を行った学生数 × 10

この総合得点は、年間のポイントに合算する。